

2023 アートマイル国際協働学習プロジェクト 報告書

日本学校名 [兵庫県立芦屋国際中等教育学校] 担当教諭名 [濱口 克樹] (3年 A組 40名)

相手国・地域 [インド]

海外学校名 [Suncity School] 担当教諭名 [Kalyani Voleti]

■実施教科・時間数について教えてください。

	教科	単元名	時間数
アートマイルに関連した 実施教科・時間数	総合的な学習の時間	アートマイルプロジェクト(国際理解、SDGs②、③、⑤、多文化共生)	19
	学級活動	アートマイルプロジェクト(国際理解、SDGs②、③、⑤、多文化共生)	13
	道徳	自分自身に関すること、他の人との関わり、集団や社会との関わり	4

■作品に込めた想いについて教えてください。

題 (テーマ)	SDGs (②Zero hunger, ③Good health and well-being, ⑤Gender equality)
メッセージ (相手と想いを合わせて 世界に発信したいメッセージ)	Dear world Let's create a future where everyone can eat healthy without gender bias, grow local, eat local, share food with those in need.



■今回の取り組みの成果と課題はどういった点でしょうか？

成 果	課 題
一番の成果は、自分達(日本)が問題視していなかったことでも、他国では重大な問題になっていると気づけたことである。“食と健康(SDGs②③)”をテーマに調べ学習を行ってきたが、インドでは“食”に関しても、男女平等ではないということを知った。直接的な交流があったからこそ気づけたことであり、国際理解の原点のように思う。	学校行事や時間を制約される活動が多いため、もう少し時間を取ってじっくり取り組みたいことがなかなかできず、常に自転車操業になってしまっていた。大まかな予定を組んで進んではいたものの、2クラス同じ進度で進めようと思うと、思うようにいかないこともあり、調整が難しかった。

■アートマイルに取り組む前と比べて相手の国・地域や世界に対して意識はどう変わりましたか？

児童生徒の意識の変化	教師の意識の変化
“インドとの交流”と聞いて、最初は文化も言語も異なる人達と“協力”できるのか不安だったようだ。しかし、Zoomでの交流で一気に距離が縮まり、“楽しい”と感ずることができた。そして調べ学習や調べたことを共有していく中で、コミュニケーション能力や世界規模で物事を考えることの重要性や必要性を感じ、自分自身の視野を広げようとする姿勢が見られた。	生徒だけでなく、教師である私自身も、“食”と“ジェンダー問題”とがなかなかリンクせず、SDGs②③だけでなく、そこに⑤をプラスする考えに賛同できずにいた。相手校の先生の熱心な訴えと他国に自国の問題を分かち合いたいという気持ちが伝わり、自分の生徒にしっかりそこを伝え、一緒にその問題について考えてもらおうという気持ちが芽生えた。

■主な活動の流れを教えてください。

場面	時期	活動内容	児童生徒の反応	実施教科等
調べ学習 テーマ学習	6月 ～ 8月	<ul style="list-style-type: none"> ・テーマ“食と健康”導入 ・自己紹介動画作成 ・Zoomでの交流会 ・調べ学習(食と健康) 	どの生徒も“食”には関心があったので、前向きに取り組もうという姿勢が感じられた。インドとの交流は不安もあったようだが、Zoom交流で一気に楽しい気持ちが起こった。動画作成にも積極的に取り組めた。	総合4 学活4
共有 相手と意見交換	9月 10月	<ul style="list-style-type: none"> ・調べ学習プレゼン準備と動画撮影 ・調べ学習で出てきた問題点／良い点の解決策／進展策を考える 	分かりやすく英語で伝えることの難しさを感じてはいたが、ネイティブ同様に英語が扱える生徒や英語が得意な生徒がリードし、助け合いながら取り組む場面が多々見ることができた。	総合6 学活3 道徳1
融合 メッセージ作成	11月	<ul style="list-style-type: none"> ・世界に届けたい／発信したいメッセージを考える ・絵のデザインを考える 	インドとの意見の相違があったおかげで、自分の考えを主張したり、批判的に思考する力も発揮することができ、最終案に対する喜びも増大した。	総合5 学活3 道徳2
創造 壁画制作	12月	<ul style="list-style-type: none"> ・壁画下描き ・壁画色塗り ・壁画の裏にサイン、世界に向けてのメッセージを記入 ・グリーティングカード作成 	壁画の色塗りは、40人全員で取り組んだが、40人全員で一つのことに取り組む楽しさと、日本側の壁画が完成していく喜びの両方を感じることができているようであった。	総合3 学活3 道徳1
評価 振り返り 自己評価	1月 2月	<ul style="list-style-type: none"> ・1年間の取り組みの振り返り 	SDGsに対する関心が高まり、世界の問題に目を向け、新しい発見があったという意見が多かった。また文化の違う人と共同で作業することの大変さと楽しさを感じたようである。	総合1

■アートマイルでついた力について教えてください。

評価 (5:とてもついた 4:ついた 3:どちらともいえない 2:あまりつかなかった 1:つかなかった)

学習目標・つけた力	評価	教師がそう感じた場面と理由
異文化を理解する力	5	Zoomでの交流を本当に楽しんでいただくと、インド側が調べてフォーラムにアップしたものを、一生懸命解読し理解しようと取り組んでいた。日本とインドとの相違点や共通点を見つけることができた。
主体的に考え行動する力	5	1年を通して、様々な活動を行ってきたが、生徒一人ひとりが自分の力を発揮できる場面で積極的に行動し、取り組むことができていたように思う。
批判的に思考する力 (客観的・論理的視点)	4	絵のデザインを考える際に、インド側との意見の相違や互いの理解の食い違い等が起こったが、その際、自分の考えを理由とともにしっかり主張したり、相手に伝えようとする姿勢が見られた。
多様な他者と対話・協働する力 (海外の相手と対話・協働)	4	絵のデザインを考える際、相手(インド)の視点やアイデアを尊重しながら考えることができていた。双方が納得する絵のデザインを考え完成させることができた。
想いを表現する力 (メッセージ作成・壁画制作)	5	両国の願いや思いを、何度も何度もクラスや相手校と話し合いながら、心のこもった絵を皆で協力して完成させることができた。色を塗る時、絵が完成していく時の生徒の表情は本当に良かった。